

平成 25 年度 学術振興基金助成による成果報告書

平成 25 年 7 月 15 日

学 長 殿

所属部局・職名 人間発達文化学類・教授

申 請 者 名 鈴木 庸裕

助成事業の区分 (該当するものに○印)	研究協力に関する事業 (学 会 等)
事 業 名	日本学校ソーシャルワーク学会 第 8 回福島大会
事業実施期間	平成 25 年 7 月 13 日～ 平成 25 年 7 月 14 日
成 果 の 概 要	<p>今大会は、大会テーマを「子どもの生活や地域の再生と学校ソーシャルワークを考える」とし、震災後の日本の社会において、子どもたちの幸せをめぐり、数多くの振り返りや見直す課題を再検討するものとなった。2年数ヶ月が経ついま、人間復興（暮らしと命の復興）に向けた様々な取り組みから得た知見や実践を般化して、学校ソーシャルワークの立場からひろく子どもの貧困、家庭支援、学校支援などの全国的課題と実践について考える大会であった。さらに、2008年からはじまった「SSW活用事業」も6年目になり、新たな展開が求められる時期でもあり、その振り返りと前進を一緒に考える場でもあった。</p> <p>内容面では、文科省からの来賓挨拶のあと、基調講演「全町避難一まちづくりと子どもたちの生活支援」福島県大熊町 町長 渡辺利綱氏、大会企画シンポジウムテーマ：「地域復興・生活再建にとって学校ソーシャルワークの役割は」 (①これからの地域福祉におけるスクールソーシャルワーカーの役割、②自治体間の広域連携をめぐる派遣教員の取り組み、③心のケアをめぐる専門職連携とスクールソーシャルワーカーの役割、④生活再建と学校教育をつなぐスクールソーシャルワーカーの実践。その他、課題研究発表分科会(4分科会)、自由研究発表分科会(4会場)であった。</p> <p>参加者は、全国から272名。研究者、SSW、教育関係者、院生など。</p> <p>この時期、福島での全国大会が持つ意義について、県内のみならず全国的に高い評価を得た。</p>

2013年度 第8回

日本学校ソーシャルワーク学会福島大会

後援：福島大学、福島県教育委員会、福島県社会福祉士会、福島県精神保健福祉士協会、他

大会テーマ 子どもの生活や地域の再生と学校ソーシャルワークを考える

震災後の日本の社会において、子どもたちの幸せをめぐり、数多くのふり返りや見直す課題を見つめてきました。「3.11」から2年が経ついま、人間復興（暮らしと命の復興）に向けた様々な取り組みから得た知見や実践を般化して、学校ソーシャルワークの立場からひろく全国的課題と実践について考える大会にしていきたいと考えています。

さらに、2008年からはじまった「SSW活用事業」も6年目をむかえ、新たな展開が求められる時期でもあると思われます。そのふり返りと前進を一緒に考える場としても、是非、東北の地へ。

■ 会 場： 福 島 大 学（〒960-1296 福島市金谷川一番地）

■ 日 程： 2013年7月13日(土)・14日(日)（前日企画12日(金)）

第1日目 13日(土)

- 大会事前企画 基礎研修・専門研修（受付：午前9時30分～）
- 研究大会（受付：12時～）・開会行事（1時）
- 大会基調講演（1時15分～）

基調講演「全町避難—まちづくりと子どもたちの生活支援」 福島県大熊町 町長 渡辺 利綱 氏

- 大会企画シンポジウム（2時30分） 司会 鈴木 庸裕 氏（福島大学）

テーマ：「地域復興・生活再建にとって学校ソーシャルワークの役割は」

- ① これからの地域福祉におけるスクールソーシャルワーカーの役割 田中 尚 氏（岩手県立大学）
- ② 自治体間の広域連携をめぐる派遣教員の取り組み（福島県教育委員会派遣教員）
- ③ 心のケアをめぐる専門職連携とスクールソーシャルワーカーの役割 氏家 靖浩 氏（仙台白百合女子大学）
- ④ 生活再建と学校教育をつなぐスクールソーシャルワーカーの実践 土屋 佳子 氏（福島県県南教育事務所 SSW）

- 年次総会・情報交換会（懇親会）



第2日目 14日(日)

● 午前：自由研究発表分科会 (9時30分～12時10分) 4会場

● 午後：課題研究分科会 (13時～15時)

第1分科会 「スーパービジョンの現状と今後の取り組み」

第2分科会 「学校でおこなうアセスメントの意義と実際～他職種との違いを知り生かす～」

第3分科会 「いじめ、非行／暴力、虐待をめぐる事例研究」

第4分科会 「キャンパスソーシャルワーカーと青年期」

大会前日自主企画(東北部会企画) 12日(金) 参加無料

● 日時：7月12日(金) 18時から20時

● 会場：福島大学総合教育研究センター・特別教室

イブニングフォーラム「語り合おう、震災・避難と向き合ったワーカーたちと」



大会参加費について

前日企画(12日)	無 料
基礎研修	1000円(当日申し込み)
専門研修	事前申込(参加費徴収は当日)：1000円
全日大会参加 会員・一般	■事前申込：3000円 ■当日：4000円
全日大会参加 院生会員	■事前申込：2000円 ■当日：3000円
全日大会参加 学部生	■事前申込：500円 ■当日：1000円
1日目基調報告・シンポのみ	■一 般：1000円
情報交換会(懇親会)	4000円

■弁当代：800円
(お茶込み)

※13日の昼食は大学生協の売店・食堂が開店しています。

※14日は生協閉店のため、昼食で弁当の必要な方は事前振込でご予約下さい。

- 事前申し込みは **6月15日** までです。厳守をお願いします。なお、いったん納入されたものは返却できません。
- 事前申し込み振込口座 (大会参加申し込み専用)
郵便振替：02230-7-67785、口座名、日本学校ソーシャルワーク学会
- 郵便振替用紙にて、大会参加費等の項目と金額を各自でご記載いただき合計額を振り込み下さい。

詳細は <http://www.jsssw.com/> の「研究大会」をご参照下さい。